資料3-1

防災SP養成eラーニング　検討内容の整理

防災SP養成eラーニングについて、前年度以降の検討内容を下記に整理する。

令和元年度

要件の整理と検討

- 防災SP養成eラーニングの要件を整理し、検討する。（利用目的や対象者、コンテンツの考え方・作成方法、実施時期、学習履歴等その他の機能、システム（LMS等）の利用方針、管理・運用体制等）
- 防災SP養成eラーニングの学習の流れを整理し、費用の概算を算出する。

防災SP養成eラーニングの位置づけ
（第4回企画検討会）

被災経験が無いまたは少ない市町村のうち、特に人口10万人未満規模かつ有明の丘研修・地域研修を受講できない市町村に対して、繰り返し生じている災害対応上の課題に対応でき、個別の災害対応業務が実施できるようになる機会としてeラーニングを位置付ける。

令和2年度の試行対象の業務
（第5回企画検討会）

- 避難所運営
- 住家被害認定調査・罹災証明書交付

令和2年度

試行に向けた検討

（第1回、第2回企画検討会） 整理した要件に基づき、コンテンツの設計を行う。

（第3回企画検討会） コンテンツの基本構成・構造の標準化を行う。

（第4回企画検討会） コンテンツの基本構成等に基づきコンテンツを見直し、試作版の案を提案する。

試行実施

防災SP養成eラーニングの試作版を開発し試行する。

試行結果から実施の方向性を検討

（第5回企画検討会） 試行の結果明らかになった課題の改善点を整理し、対応を検討する。

令和3年度

防災SP eラーニングの実施

- 試行結果を踏まえ、コンテンツの改善・開発、LMSなど導入するシステム選定等を行い、防災SP養成eラーニングを実施する。
- 実施の結果明らかになった課題の改善点を整理し、対応を検討する。
- 公募形式でコンテンツを作成するなど、継続的にコンテンツの充実・強化を図る仕組みを検討する。